



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2017年4月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



本格的な春を迎え、今年も活動の季節となりました。
写真は、岩手県山田町の苗木です。間もなく若葉が芽吹きます。

(目次)

1. 「東北復興グリーンウェイブ」東北の“どんぐり”の苗木を植え替える活動レポート
2. 事務局からのお知らせ
 - 新・どんぐり博士の育苗講座 (2017年4月号)

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟	(公社) 大谷保育協会
(公社) 国土緑化推進機構	NPO法人C・C・C富良野自然塾
(一社) 日本森林インストラクター協会	NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク	(一社) 日本オート・キャンプ協会
(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部	保育環境研究所ギビングツリー



1. 「東北復興グリーンウェイブ」東北の“どんぐり”の苗木を植え替える活動レポート

J P子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」では、毎年、「グリーンウェイブ」の日に、山田町の保育園（所）の園児たちが、全国の子どもたちから届けられる東北の“どんぐり”の苗木を、山田町豊間根地区の苗畑に植樹して、もう少し大きくなるまで育てています。そんな苗畑の“どんぐり”の苗木が育ってまいりましたので、今年、「しいたけの森」に植え替えました。「しいたけの森」は、山田町の特産品である“しいたけ”づくりの名人として「内閣総理大臣賞」を受賞した芳賀榮三さんの森です。芳賀さんには「東北復興グリーンウェイブ」の活動にご共感いただき、ご協力いただきました。植え替えられた苗木は大きくなって、“しいたけ”の「ほだ木」として活用されます。“しいたけ”づくりは、山田町の「東日本大震災」からの復興産業の大きな柱でもあり、全国の子どもたちの活動が、山田町の復興に寄与することとなります。

1) 2017年4月23日（日）午前中、苗畑から苗木を掘り起こしました。

当日は、山田町の保育園（保育所）の保護者有志と卒園児、東京からかけつけたサポーターが参加しました。



桜が満開の苗畑



卒園児たちがお手伝いに来てくれました。



こんなに大きく育ちました。



掘り起こした苗木は、袋に入れて、



トラックで、しいたけの森に運びます。



みんなの力で、午前中に掘り起こしが終了しました。

2) 午後、“しいたけ”の森に東北の“どんぐり”の苗木を植えました。

苗畑から、“しいたけ”の森に移動して、午後からは、掘り起こした苗木を植える活動です。今日の活動のメインなので、まずは、開会式。今回の活動でご協力いただいた、山田町農林課 佐々木さん、芳賀榮三さん、日本郵政グループからは、日本郵政 広報部 加地さんにごあいさついただきました。その後、山田町の三つの保育園（保育所）代表園児3名による記念植樹が行われました。ところで、今回の活動の中心となったのは、社会福祉法人三心会の男性保育士グループ「男心会」。男心会は、“男性保育士ならではの視点で動く”をモットーに、日々、子どもたちの笑顔のために奮闘しているグループです。今後、植樹会や苗木のお世話等「東北復興グリーンウェイブ」の活動を、子森ネットと共に担当していただきます。頑張ろうね！



開会式で、芳賀榮三さんにごあいさついただきました。



男心会も手を添えて、記念植樹



お父さんと二人で植えました。



すべての苗木を植え終えて、記念撮影

全国の参加園から送られた東北の“どんぐり”の苗木は、“しいたけ”の森の他に、森の栄養を海に届けて牡蠣の養殖に寄与する「牡蠣の森」と、子どもたちの復興の願いを地域の人たちに届けるための「新生やまだ商店街」に植えられ、順調に育っています。子どもたちの活動が、被災地の復興に確実に役立っています。



「牡蠣の森」の苗木



新生やまだ商店街に植えられた苗木

3. 事務局からのお知らせ

1) 「東北復興グリーンウェイブ」東北の“どんぐり”を見送る会開催のご提案

今年も「東北復興グリーンウェイブ」の植樹会が、5月のグリーンウェイブの日に、岩手県山田町にて開催されます。その日に向けて、全国の参加園では、子どもたちが育ててくれた東北の“どんぐり”を「“どんぐり”の絆BOX」によって、山田町に送っていただきます。その際、子どもたちに活動における大切なことを伝えるために、「東北の“どんぐり”を見送る会」の開催をご提案します。東北に帰って行く“どんぐり”の苗木を見送る活動によって、参加園の子どもたちは、被災地の子どもたちのことを想い、“どんぐり”の絆を実感してくれるでしょう。*活動のレポートを事務局までお送り下さい。ホームページ等でご紹介させていただきます。



2) 「みどりとふれあうフェスティバル」にどんぐり〜ずが出演します。

緑の感謝祭「みどりとふれあうフェスティバル」オープニングステージで、ぐんまちゃん（群馬県）、チーバくん（千葉県）、くまモン（熊本県）等のゆるキャラと一緒に、どんぐり〜ずが「♪どんぐりえがお」ダンスを踊り、東北の森を応援します。是非、皆さんもご参加下さい。

<ゆるキャラも大集合！唄って踊って、東北の森を応援しよう！>

- ・日時：2017年5月13日（土）11:00～11:30
- ・会場：東京都立日比谷公園 ・参加費：無料
- *詳細 ⇒<http://www.midorinokanshasai.com/>



●新・どんぐり博士の育苗講座（2017年4月号）～春から初夏の苗管理～

新緑の季節です。冬の間葉を落とすコナラやクヌギなどのどんぐりの木々は、どんどん枝葉を伸ばし、昨秋植えられたどんぐりは発芽して、急激な生長をはじめます。たくさんの水と光と養分が必要な季節です。

どんぐり博士：河内和男（子森ネット・森林インストラクター）



○桜前線より数週間遅れて、どんぐりの発芽前線が東北の南部まで到達しました。今後の気温が平年並みであれば、東北の北部にも、ゴールデンウィークが開けた頃に到達すると見込まれます。暖かい地域では、今年発芽した双葉もだいぶ大きくなったのではないのでしょうか。

○生命が躍動する季節です。植物はエネルギーと植物体のもとになる要素をたくさん必要としています。その要素とは、①光、②水、③土の中の栄養分と二酸化炭素です。二酸化炭素については気にかける必要はありませんが、それ以外については管理上注意が必要です。以下にまとめます。

①「光」真夏になるまでは、苗を日当たりのよい場所に置きましょう。②「水」晴れると大変乾燥する季節です。雨の降らない日には水やりをしてください。ただ、空気の乾燥具合で土の乾き方が変わります。土の湿り気が抜けないときには水やりを少し休んでください。③「土の養分」培養土には肥料が含まれていますが、1年経過すると苗の生長で使われなくなっています。そのため、追肥用の肥料を苗の周囲にまくか、より大きなポットへの植え替えが必要になります。

○毎年、東北に送り返されてくる苗の中には、植え付けられているポットが小さすぎて、十分成長できなかった苗が見受けられます。ですので、12cm～15cm程度のポットへ早めの植え替えをおすすめします。